



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第87号
令和2年10月21日

河津町議会だより



QRコード

定例会議案・町長の行政報告	2～3
決算審査特別委員会	4～5
一般質問	6～12
読者アンケート	13
一部事務組合報告	14
議員月例会・改選後の議会人事	15
議会の動き・私も一言・編集後記	16

第3回定例会議案(要旨)

9月2日から14日まで第3回定例会が開かれた。

議案は報告案件2件、専決案件2件、条例案件4件、指定管理案件1件、補正予算案件4件、決算認定案件8件、発議案件3件、同意案件1件、一般質問7名。

14日定例会最終日の本会議で決算審査特別委員会の報告がなされ、付託された議案第39号から第46号までの8議案は審査の結果本会議においてすべて認定された。

また、本定例会において、議会人事の改選が行われた。詳細はP15に掲載。

◎専決案件

河津町国民健康保険条例の一部を改正する条例、令和2年度河津町一般会計補正予算(第4号)についての2件は、全員賛成で可決された。

◎条例案件

河津町経済変動対策貸付資金利子補給基金条例の制定、河津町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例、河津町手数料徴収条例の一部を改正する条例についての4件は全員賛成で可決された。

◎指定管理案件

河津町情報通信施設の指定管理者の指定については、全員賛成で可決された。

◎町税収納状況

令和元年度の町税全体の徴収率は前年度比0.6ポイント増加となった。

◎特定健診及び各種がん検診事業

8月上旬に大腸がん検診を実施。9月中旬以降、各種健診及び検診を完全予約制にて実施予定。今年度に限り、加入保険に關係なく人間ドック受診者に1万円助成する。

◎小学校統合関係

国民健康保険加入者は、現助成制度と合わせて最大2万円の助成となる。統合説明会を計16回開催し、統合準備委員会の答申に沿って3小学校の統合を進める。

◎GIGAスクール構想の実現

義務教育を受ける児童生徒に「一人一台端末」と「高速大容量の通信ネットワーク」を整備する。

◎補正予算案件

令和2年度河津町一般会計補正予算(第5号)、令和2年度河津町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)、令和2年度河津町介護保険特別会計補正予算(第2号)、令和2年度河津町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の4件は、全員賛成で可決された。

◎発議案件

河津町議会委員会条例の一部を改正する条例について(新型コロナウイルス感染症まん延防止措置の観点から委員会の開催場所への参集が困難と判断される場合においてオンラインを活用した委員会を開催することに関し必要な事項を定めるために条例の改正が必要となった。)

◎同意案件

その他意見書2件は全員賛成で採択された。固定資産評価員の選任

浜 土屋 典子 (町民生活課長)

◎令和元年度河津町一般会計・特別会計決算、公営企業会計決算は、広報かわづ10月号及び町のホームページをご覧ください。



QRコード

町長の行政報告(抜粋)



岸 重宏 町長

◎新型コロナウイルス感染症対策

7月28日から県の基準6段階の警戒レベルが、4に引き上げられた。

【これまでに行った対策事業】

●特別定額給付金3328世帯7億820万円を給付した。

●休業要請協力金支給事業として、第1期は146事業者、第2期は145業者に10万円を支給した。

●感染症対策緊急支援補助事業は250業者に一律10万円を支給した。

●河津町経済対策事業として「コロナに負けるな!河津町プレミアム商品券」5500万円「河津町商工会プレミアム工事券」3319万円を販売した。

●夏の観光施設の対応として、町内の12観光施設を7月29日から閉鎖した。今井浜海水浴場はガイドラインに沿って開設しなかったが、事故防止のため監視員の設置、清掃等を行った。河津浜海岸についてもパトロールを実施した。

●新型コロナウイルス感染症抗原検査機器導入事業(下田メデイカルセンター)

◎令和元年度決算

令和元年度一般会計決算は歳入総額38億7491万8604円、歳出総額37億7048万1524円となった。健全化判断比率から見ても、当町は健全な財政運営を維持していると判断できる。

◎町コミュニティセンター耐震対策事業

10月入札11月工事着工を目指す。

入札結果

入札日	件名	落札者	金額
6.24	防災・安全交付金 町道鍛冶屋沢線舗装補修工事	丸三工業(株)	792万円
7.13	業務用ノートパソコン購入	(株)下田オー・エー・システム	299万8,930円
7.14	地籍調査業務委託(大鍋Ⅱ)	(株)フジヤマ沼津営業所	1,243万円
7.28	町立学校施設等長寿命化計画策定業務委託	玉野総合コンサルタント(株)沼津事務所	336万6,000円
	(仮称)河津町子育て支援施設建設実施設計業務委託	同上	1,523万5,000円
	道路メンテナンス事業 長寿命化修繕計画・橋梁点検業務委託	静岡コンサルタント(株)	957万円
	浜地区道路施設改修工事	(有)加畑組	1,157万2,000円
	大堰浄水場自家発電機設備等更新工事	荏原実業(株)静岡支社	7,370万円
8.20	防災・安全交付金 町道鍛冶屋沢線舗装補修工事その2	丸三工業(株)	913万円
	笹原地区道路施設改修工事	(株)大塩組	803万円
	長野地区水道管布設替工事	(有)寺林工務店	759万円
	町立学校給食センター自家発電機設置工事	東海建設(株)	1,611万5,000円
	地籍調査業務委託(浜Ⅲ)	(有)渡辺測量事務所	143万円

～ 決算審査188問～

令和元年度の各種決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置し、詳細に審議した。(9月7日～14日)188問の質疑が行われた後、2件の付帯意見と1件の口頭意見を提出、認定された。質問の一部抜粋。

委員長	上村 和正	副委員長	遠藤 嘉規	委員	大川 良樹	委員	桑原 猛	委員	塩田 正治	委員	仲里 里司
委員	土屋 貴	委員	渡邊 弘	委員	宮崎 啓次	委員	藤邊 昌昭	委員	田中 啓次	委員	里司

教育委員会

質問：元年度よりエアコンを導入したが、電気料について、平成30年度と比べあまり変わらないが、今後新電力などへ移行の考えは。

事務局長：考えていない。
質問：保健体育総務費の電気料について。

事務局長：社会教育などによる電気料として、月々定額で各学校に割振りをしている、東小9,000円、南小11,500円、西小5,500円、中学12,500円。
質問：ALT外国語支援員の状況について。
事務局長：現在支援員は、外国人1名、日本人1名で実施している。

水道温泉課

質問：温泉事業における現在の維持管理についてどのような状況か。
課長：現在の施設は40年経過しており、そのため

総務課

質問：一般競争の他に県などで導入の創意工夫などの採点方式があるのか。
課長：発注までの期間などの関係で指名競争入札等を実施している。その他、総合評価方式の事例もあるが、決定までの期間を3カ月間要する見込み。

質問：普通建設事業が町内業者にまわっていない。
課長：落札業者への町内業者使用の指示は困難。総合方式の一部で、評価の項目に加えることはできる。工事発注の年度内執行、また繰越事業で受注業者の受注期間の平準化に努めている。

産業振興課

質問：プロモーションビデオの活用は。
課長：ホームページや観光イベントなど観光宣伝の機会がある際に使用し

維持管理に必要な修繕バルブ交換消耗品の交換を行っている。
質問：ほっとステーションの販売単価200Lで100円の金額設定は、見合っているのか。財源確保のため、料金見直しの検討は。
課長：当初の温泉給湯と同じ単価の設定、他の事例との比較も困難なので、変更はない。



ほっとステーションの自動販売機

健康福祉課

質問：子育て応援住宅整備事業の見直しで、町内業者利用の制限撤廃、住

ていく。
質問：ユーチューブなどで拡散はしているのか。
課長：ユーチューブでもアップしている。

質問：河津町河津桜まちづくり計画が策定されたが活用方法は。
課長：計画の実施はソフ

ト面から進めていく。
質問：町の花、「花菖蒲」販売金額が激減の理由は。
課長：今まで5軒の花菖蒲農家があったが、大口の生産者がやめたため。

企画調整課

質問：町の花「花菖蒲」に対し何らかの施策を考えた方がよいのでは。
課長：町長も何らかの形で存続は考えている。観賞用としては作業時期が困難。

質問：河津桜切り枝事業は促成からも有用。市場の需要に注視する必要はある。カップ選びなど検討した方がよいのでは。
課長：今後試験出荷をし

宅メーカーなどの利用が可能になったが。
課長：年々利用が減っている、当初は県補助もあり50万円としていたが、現在15万円。制度変更したことにより前年度2件が12件となったので制度変更の効果と考える。
質問：介護の状況で2025～2030年がピークを迎えるがどのように考えているのか。
課長：ピーク時のために施設整備はできない、居宅介護を進める傾向がある。国の施策で病院を介護型に替える動き等がある。

町民生活課

質問：固定資産税で再生可能エネルギー償却資産の精査をしては。
課長：事業者から備品台帳の提出を求める等の方法を検討したい。

質問：確認申請地域外の再生可能エネルギー事業の把握は。

ないのでなく、目揃えなど品質向上をはかり、まずは河津桜まつりなどで販売をしていき、町の産業化の観点からも継続していく。

質問：中学校に設置した太陽光パネルによる電気代の削減は。
課長：太陽光パネルで作られた電気は、売電せず、中学校で使用されているため、電気代が削減でき

た。



河津中学校太陽光パネル

課長：航空写真などを活用し把握に努めたい。



改修されたB & G体育館



大型スクリーンを活用した決算委員会

意見書

1. 経済対策の観点から、町内需要の促進に努められたい。
2. 多様化する業務の効率化を考え、ICTの活用と業務の外部委託等を図り、職員の資質向上を積極的に取り組み、町民の負託に答える組織作りを進められたい。

口頭意見

1. 新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念される状況にあり、町民の健康対策にも万全を期するため、インフルエンザ予防接種補助等の追加支援をされたい。

建設課

質問：橋梁の維持点検はどのようなになっているのか。
課長：町内171ある橋梁を割振り、5年スパンで点検を行い、それぞれの橋梁を4段階のレベルで判断し、その状況に応じた対応をしている。

質問：コンクリート片などが落ち、ネット措置などをしている荒倉橋ほどのレベルなのか。
係長：前回の判定ではレベル2(予防保全段階)で、次年度点検予定。



浸水に備え高上げされた蓄電装置

町政を問う

一般質問



みやざき けいじ 議員



2017年 大手IT企業幹部がサテライトオフィス候補地として視察した旧朝日幼稚園

質問：父兄の中に令和5年に新校舎が完成すると理解している方々が多い。今後の予定は。

教育長：学校統合準備委員会から、新校舎は河津中学校の近くに建設するのが望ましい、しかし建設には時間が必要、それまでは南小学校校舎を活

用されたい。との答申をいただいている。今後、通学方法、通学援助、学校運営協議会、校名や校歌の選定など審議していただく。

町長：今後用地などの関係もある。一日でも早い新校舎の建設を目指す。

質問：ICTを活用した教育の今後の予定は。

教育委員会事務局長：国がGIGAスクール構想を前寄せ、地方創生臨時交付金の予算措置をした。一人一台、403台の端末機(タブレット)の購入を予定。ネット環境の未整備世帯に支援制度の構築を考えたい。

質問 統合小学校の新校舎の建設計画の考え方は

答え 仮設校舎は南小を使う、地域に根ざす学校を

質問：定住人口減少に対する対策、移住者受け入れや地方分散に向かう企業誘致は。統合後の学校跡地も光回線も整備され利用可能ではないか。

企画調整課長：空き家バンク登録物件の取得又は賃貸する移住者に改修費用や取得費、家賃の一部を補助する事を検討して

いる。企業誘致は県東京事務所に協力頂き、サテライトオフィスやワーケーションなど移住定住に結びつけていきたい。

町長：小規模事業者の誘致は可能性があるので。企業誘致は新たな補助制度等を検討したい。若い人の中で起業してくれる方がいれば推進したい。

サテライトオフィスも考えていきたい。

質問：疲弊している町内経済、第二弾のプレミアム商品券や非課税世帯への二万円のさくらちゃん商品券の配布などの経済対策の考えは。

町長：商品券は大変効果があった。今後状況を見ながら対策を考える。

質問 移住者受け入れ・企業誘致の対策は

答え 企業誘致は新たな補助制度を検討

町政を問う

一般質問



わたなべ まさあき 議員



配布・備蓄するパーティション

質問：広報かわづ・ホームページの活用は。

企画調整課長：広報かわづは回覧で80・5%に配布しており、コンビニ等にも置いてある。ホームページは昨年度リニューアルし、前年比175%のアクセスがあった。

町長：ホームページの中には町長の部屋というのがあり、毎月確実に更新している。

質問：防災メールの登録

数・同報無線の活用は。

総務課長：防災メールは1856件の登録がある。防災ガイドブックに登録の案内をしており、総務課の担当で登録のお手伝いをしていく。家族間等で情報の共有をお願いしたい。

同報無線は、防災行政事務に関する事項の許可を得ている。

質問：農協の有線テレビを活用しないか。

町長：各種行事を積極的に放送していただき、感謝している。

自粛期間中には子ども向けに子育てネットのみ皆さんの協力を得て、自宅で読み聞かせ体験ができるよう定期的に流してもらった。今後農協ともできることは協議したい。

他「鳥獣害対策について」1件

質問 感染症対策と災害避難対策の両立は

答え ガイドラインに沿って今後順次検討したい

質問：三密を避け、災害避難者を収容できるか。

総務課長：ガイドラインによれば数値の上では町民全体をほぼ収容できる。新型コロナウイルス感染症対策のために、学校の特別教室を利用し、上手く住み分けが出来ないかと調整している。

質問：災害避難物資の備蓄は十分か。

総務課長：非常食は町全体で3万食弱準備しているが、備蓄品等には限りがあるので感染症対策として各自でマスク3枚と必要と思われるものの準備をお願いしたい。

町長：町の業者との災害

協定を利用していく。

質問：避難所でのプライバシーの確保はできるか。

総務課長：今後、屋根付きのパーティションを各自自主防に1張りずつ配布する。12張りを町に備蓄する。

質問 町による情報伝達は

答え 情報の伝達は重要な部分である

町長：各種行事を積極的に放送していただき、感謝している。

町政を問う

一般質問



わた なべ ひろ 議員
渡 邊 弘



今井浜遊泳中止

質問：令和元年度の営業収支がバガテル公園が▲6168万円、踊り子温泉会館が▲1997万円、カーネーション見本園が▲886万円で約▲9000万円になる。今後町の方向性は。

町長：見直せる経費は見直す。特に雇用関係は新制度の包括委託の関係もあり、連絡を密にし取り

質問：令和元年度の営業収支がバガテル公園が▲6168万円、踊り子温泉会館が▲1997万円、カーネーション見本園が▲886万円で約▲9000万円になる。今後町の方向性は。

答え 町の施設と目的を持って作った 検討すべきである

質問 町営施設は赤字続き 今後の方向性は

質問：県のレベル4発令で、今井浜海岸の中止・町営施設の閉鎖をしたのか。

町長：町のガイドラインの規定どおり中止を決めた。

質問：県のレベル4発令で、今井浜海岸の中止・町営施設の閉鎖をしたのか。

答え レベル4ガイドライン対応 予防接種はしない

質問 新型コロナウイルス対策とインフルエンザ予防接種

質問：県のレベル4発令で、今井浜海岸の中止・町営施設の閉鎖をしたのか。

町長：町のガイドラインの規定どおり中止を決めた。

質問：県のレベル4発令で、今井浜海岸の中止・町営施設の閉鎖をしたのか。

町政を問う

一般質問



今年度より採用された道徳の教科書



しお だ まさ はる 議員
塩 田 正 治

質問 バガテル公園は考え直すべきではないか

答え ふるさと納税を活用して取り組む

質問：一年間のうち、二カ月間しか集客できないバラ園では将来を見据えた時に無理がある。毎年大きな赤字経営となり、一般会計から補填をしている現状は、考え直しが必要ではないか。

町長：ふるさと納税制度の強化により、資金確保を図り、新たな計画や民間事業者を募り予定で進めているので、考え直すことはない。

質問：河津町は年間110日間も雨が降るデータが有る。一年を通して観賞出来る花の公園にして、アーケードを通路に張り、雨の日に特化させてはどうか。

質問 道徳教育を充実強化しては

答え 今年度から特別な教科道徳として重視している

質問：現在、世界中の人達から日本人の誠実さや規律の正しさ、おもてなしの心などを賞賛されている。これまでの道徳教育によるものだと考えるがどのように捉えているか。

町長：日本人特有の道徳観は日本人の誇り。これまで培われた道徳心を持つ

質問：河津町独自で、道徳教育を充実強化することはできないか。

※定例会終了後、新型コロナウイルス対策のため、本年度に限り、子どものインフルエンザ予防接種費用の一部助成を実施することになった。

町政を問う

一般質問



くわ はら たけし 議員
桑原 猛



B & G 体育館のユニバーサルデザイントイレ

質問：町と県の土木、農林事務所との協力体制や役割分担についてはどのようなになっているのか。地区要望で上げる以上に県や国に改修や危険箇所の情報を受け止めてもらうような手段があるのか。町長：町にある以上、そこに住んでいる町民の生

活に関わることがある中で、県と連携を深めて情報交換や、要望などもしていく。建設課長：要望書として提出している以外に、事業が実施可能なのか、個別に県と協議するなどの対応を取っている。

質問：要望という形で受動的に維持管理や危険箇所を把握するだけでなく、橋梁点検のように積極的な手法を取って、計画を立ててはどうか。町長：県の施設であっても町民に係るものについては、これからも積極的に私も関わって要望等したい。

答え 町民に係るものは、積極的に要望等したい

質問 町内にある県管理の道路等の維持管理は

質問：ユニバーサルデザインとしてわかりやすいのは、トイレ施設であるが、改修計画はないのか。町長：設備的な面では具体的な改修計画はないが、町としては旧来の便器の劣化の状況などを踏まえ、順次換えられるものは洋式化、バリアフリー化など状況に応じて検討して

いきたい。質問：現在総合計画の策定に取り組んでいる最中だが、こうした計画にユニバーサルデザインを取り入れることを明記してまちづくりを活かせたらと考えるがどうか。町長：第4次総合計画の中でも人に優しいまちづくりの推進という項目を

設けて、ユニバーサルデザインの視点で施設整備を進めていくことが明記されている。現在作成中の第5次総合計画の中でも当然取り上げる。啓蒙も含めてユニバーサルデザインというのは広い分野の中で推進が必要だと

答え 第5次総合計画の中でも当然取り上げる

質問 ユニバーサルデザインの取組は

町政を問う

一般質問



小学校のPCを使った授業



えん どう よし のり 議員
遠藤 嘉規

質問 幼小中学校の緊急地震速報の体制は

答え 震度4以上で流れ、スマートフォンの速報より早い

質問：7月30日に緊急地震速報の誤報があった。各学校の対応と緊急地震速報の仕組みは。教育委員会事務局長：今回の速報発表時に各学校では緊急地震速報は流れていない。しかし、職員室にいた先生方が携帯電話等により緊急地震速報のエリアメールを確認したことにより、学校内の

放送設備にて周知した学校もある。気象庁の全国1200カ所設置されている高感度地震計が地震の発生を感知すると、気象庁の予報業務の取得会社のサーバーを経由し、すぐに学校の受信機に情報が送信される。学校では受信後、自動で放送が流れる。受信機の設定震度は震度4

以上となっている。質問：小学校、中学校で緊急地震速報を使った防災訓練を行っている。教育委員会事務局長：幼稚園は既に実施している。小中学校では実施している所としていない所がある、今後訓練の一つとして実施するように提案していきたい。

質問 GIGAスクール構想の進捗は

答え 早急に対応すべく、今議会に補正予算を計上した

質問：文科省が進めるGIGAスクール構想。国は令和5年までに実施と言っているが状況は。町長：新型コロナウイルス感染症対策として、学校のリモート授業の重要性が叫ばれている。何とか子どもたちの学習を支える意味から、前倒しを進めている。教育委員会事務局長：1

人1台端末、校内無線LANの高速化、電源キャビネット整備を予算成立後、早急に進めたい。緊急時の家庭でのオンライン学習環境への対応をすべく、各家庭での通信環境の状況を確認し、WiFi・F・I環境等が整っていない家庭への支援体制の構築も考えている。

質問：学校のICT化が急激に進む。現場の先生方への支援体制の確立が大切。ICT支援員を各学校に配置出来ないか。教育委員会事務局長：先生方にはICT活用研修会等へ参加してもらっている。ICT支援員の常駐は国の施策に支援員派遣業務が想定をされる、国の動きを見極めながら検討したい。

議会だより第87号 読者アンケート

抽選で5名様に
「河津踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

お名前 _____
 ご住所 _____
 ご連絡先 _____

読者の皆様のご意見を紙面に反映たく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
お名前、ご住所、ご連絡先、各質問の回答をご記入の上、FAXあるいは郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。

- 締め切り 11月末日必着**
- FAX送付先：下記参照
 - 郵送先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※郵送の際の切手代等は各自ご負担願います。

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

- 2P～3P 定例会議案、町長の行政報告 4～5P 決算審査特別委員会
 6P～12P 一般質問 13P 読者アンケート
 14P 一部事務組合報告 15P 議員月例会、改選後の議会人事
 16P 議会の動き、私も一言、編集後記

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. もう少し 4. 不満

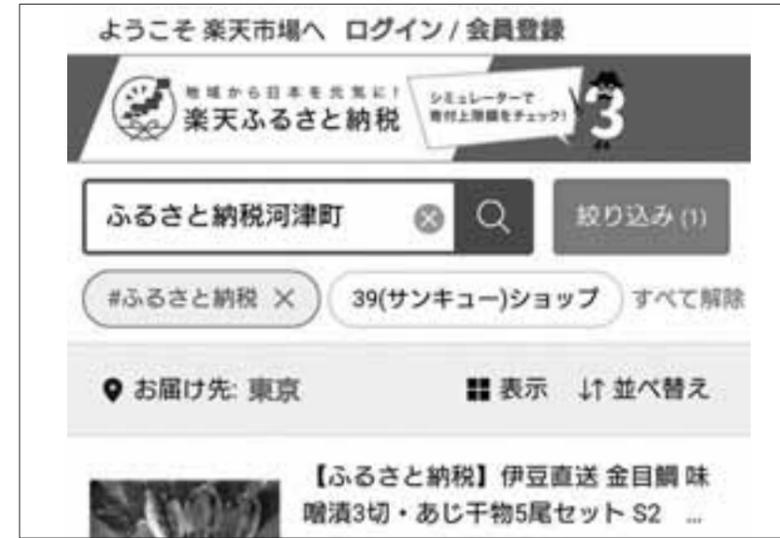
Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報編集委員会より改めてご連絡差し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。 議会事務局 0558-34-1957

FAX番号 0558-34-1405

町政を問う

一般質問



民間業務委託後、新しく拡充されたポータルサイト(楽天)



おおかわよしき 大川良樹 議員

質問 賀茂地域連携、ワーケーションの拠点づくりは

答え 統合後の学校なども考えられる

質問：ワーケーション・サテライトオフィス事業で賀茂地域が連携しているが、当町はなにもしないのか。

町長：場所、仕組みづくり、マンパワーなど幾つか課題があり、当面は各市町の状況や実態を把握していく。

質問：町内拠点づくりは。

町長：将来的には統合後、学校などの教室の活用も考えられる。場合によっては新たな拠点づくりも考える必要があるかもしれない。

企画調整課長：サテライトオフィスなどで、空き家バンク等の情報で利用可能な物件調査をしている。今後公共施設の活用

も含め事業化を検討していきたい。

質問：移住、定住の施策とどのように絡めるのか。

企画調整課長：当町は、自然資源が豊富にあるところを活かし、仕事と余暇の両立ができるのではと考える。静岡県東京事務所にも協力いただく。

質問 ふるさと納税業務委託、事業者の成功事例は

答え 静岡県下13市町で140%～420%の実績

質問：ふるさと納税の業務委託に伴う業者並びに返礼品の推移は。

企画調整課長：委託前14点、委託後8月末現在20事業者93点だが、まだ登録継続中なので元には戻る予想。

質問：レッドホース社に決めた実績、成功事例は。

企画調整課長：全国250市町村を手がけ、県内

で13市町と業務委託しており、2018～2019の対比では140%～420%のデータを確認し決定した。

質問：委託することでプラットフォームの拡大は。

企画調整課長：現行のふるさとチョイス、さとふるに加え、楽天、ふるなび、Qoo10、auPay、合わせて6つのプラットフォーム

フォーラム。

質問：予算補正で1億5千万円に増額されたがクリアできるのか。

町長：ポータルサイトも増えサイト内の情報も充実したことから大いに期待している。

他「企業版ふるさと納税の取り組みについて」1件

一部事務組合

下田メディカルセンター 議会

8月定例会が8月24日開催され、原案通り承認可決された。

- 認第1号 令和元年度一部事務組合下田メディカルセンター(以下S.M.C)病院事業会計決算認定
- 認第2号 令和元年度S.M.C介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定
- 報第1号 令和元年度決算に基づく病院事業会計資金不足比率の報告について
- 議第10号 令和元年度S.M.C病院事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 報第2号 専決処分の承認 令和2年度S.M.C病院事業会計補正予算(第1号)
- 報第3号 専決処分の承認

定(指定金融機関の指定)
議第11号 令和2年度S.M.C病院事業会計補正予算(第2号)

議第12号 令和2年度S.M.C介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号)
議第13号 S.M.C行政不服審査会の条例の制定について

議第14号 S.M.C一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について
議第15号 S.M.C個人情報保護条例の制定について

議第16号 S.M.C情報公開条例の制定について

下田地区消防組合議会

8月25日、定例会と議員研修会が開かれた。承認案件1件と補正予算等3議案が審議され承認可決された。
議員研修会では、新型コロナウイルスへの対応状況と駿東伊豆消防組合



導入した抗原検査機器

との広域化協議の説明などがなされた。

認第1号 令和元年度下田地区消防組合会計歳入歳出決算認定については、歳入決算額12億6472万9046円、歳出決算額12億2836万6696円、差引残高3636万2350円が繰越。

議第7号 専決処分の報告及びその承認を求めることについて(指定金融機関の指定について)

議第8号 下田地区消防組合職員給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第9号 令和2年度下田地区消防組合会計補正

予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ5408万8千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ12億4930万円。

事業報告 令和2年2月1日～7月31日まで組合全体で、火災発生は12件。救助出動件数は25件。救急出動は1442件、搬送人数は1341人、河津町では186人が搬送された。ドクターヘリの要請は115件、80人の傷病者が搬送された。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う、自粛の影響が救急出動件数に顕著に表れ、出動件数及び搬送人員が前年比で大きく減少している。

伊豆斎場組合議会

8月25日8月定例会が開催された。運営の概要は火葬数913体内、河津町は138体。
報第2号 専第2号指定金融機関スルガ銀行とする。専第3号令和2年度



新型コロナウイルス感染者搬送用器具
アイソレーター

補正予算(第1号) 債務負担行為
認第1号 令和元年度伊豆斎場組合会計歳入歳出決算認定
議第5号 伊豆斎場組合個人情報保護条例の制定について

議第6号 伊豆斎場組合情報公開条例の制定について

議第7号 令和2年度伊豆斎場組合会計補正予算(第2号)
それぞれの議案について審議され承認可決された。
9月15日伊豆斎場改修工事の一般競争入札の公告が行われた。

議員月例会

7月10日、月例会を開き、県が公開している県内の3次元点群データについて学んだ。

県の同データを担当した建設イノベーション推進の杉本直也班長による「3次元点群データが拓く(ひらく)バーチャル・シズオカ」をテーマに講演が行われた。

防災、観光、自動運転などの活用について語り、防災では詳細なデータから災害時の復旧期間の短縮の可能性や、津波の浸水状況の3次元体験による予防策などを挙げた。

自動運転は走行用データとして活用。昨年取り組んだ松崎町での実証実験を例に挙げながら、中間地域の自動運転の有効性と課題を紹介した。

改選後の議会人事

議長

上村 和正

議会広報編集委員会

委員長 塩田 正治

副議長

遠藤 嘉規

副委員長

桑原 猛

監査委員

土屋 貴

一部事務組合

東河環境センター

第一常任委員会

委員長

大川 良樹

塩田 正治

副委員長

桑原 猛

稲葉 静

第二常任委員会

委員長

渡邊 昌昭

下田地区消防組合

副委員長

塩田 正治

宮崎 啓次

委員

渡邊 昌昭

仲 里司

委員

遠藤 嘉規

宮崎 啓次

委員

仲 里司

下田メディカルセンター

委員

宮崎 啓次

桑原 猛

委員

宮崎 啓次

渡邊 昌昭

河津町議会では「虚礼廃止」を申し合わせています。議員の年賀状などの挨拶状は廃止しています。この紙面を借りてごあいさつに代えさせていただきます。

新議長あいさつ

上村 和正



伝統ある河津町議会の議長である大任を仰せつかり、身に余る光栄と感謝の気持ちと共に、議決機関である議会の長の責任は極めて重大であり身の引き締まる思いでございます。

地方自治の本旨は、首長、議会が共に住民を代表するところにあります。共に住民を代表する首長と議会が相互の抑制と均衡によってある種の緊張関係を保ちながら、議会が首長と対等の機関として、その地方自治体の運営の基本的な方針を決定

議決し、その執行を監視し、また積極的な政策提案を通して政策形成の舞台となる事こそ、二元代表制の本来の在り方であると云えます。河津町議会におきましても、行政としっかりとした議論を重ね、町民のための施策を実施していく事が、明日の地方自治の発展に繋がるものと確信しております。

依然として厳しい財政状況ではございますが、活力と魅力に溢れ、安全で住みやすい町づくりを進めていく事が、町民の皆様の一一致した願いであるとの認識に立ち、その負託に応えるべく、皆様と共に頑張っていく所存でございます。

どうぞ今後とも、町民の皆様方の温かいご支援、並びにご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



前議長 土屋 貴

議会の動き

●議長の活動

7月

・賀茂郡町議会議長会議

●町議会議員活動

6月

・議会広報編集委員会

・例月出納検査結果報告書受領

7月

・議員月例会

・議会広報編集委員会

8月

・河津町子ども議会傍聴

・議員説明会

・議会全員協議会

・議会広報編集委員会

・議会運営委員会

・例月出納検査結果報告書受領（2回）

・随時監査（財務事務監査）及び行政監査（建設事業に係る事項）の監査の結果報告書受領

●第1常任委員会案件

・月例会の議題について

・河津町自衛隊協力会理事會

・河津町表彰審査委員会

・河津町総合開発審議会

●第2常任委員会案件

・河津町社会教育委員会

・河津町青少年問題協議會

會

●一部事務組合

6月

・東河環境センター議會議時會

臨時會

8月

・下田メデイカルセンター議會議時會

・伊豆斎場組合議會議時會

會

・下田地区消防組合議會議時會

定例會

●議長に要請のあった諸會

7月

・令和2年度富士山静岡

空港利用促進協議會總會（書面決議にて表決）

8月

・河津町交通安全対策委員会

「私言」

河津町消防団

団長 稲葉 克己



我々消防団は町の消防機関であり、消防団員は他に本業を持ちながら郷土愛の精神に基づき消防団活動に携わっています。

消防団の任務は、火災はもとより、台風・豪雨・地震等の自然災害における救助活動・避難誘導等の実施又行

方不明者の捜索活動と幅広い分野にわたり、町民の生命・身体・財産を守る活動を行っています。しかし、近年

の社会情勢の変化に伴い団員数の減少や被雇用化などの変化により消防団も様々な課題に直面しており、時代と共に変革の時期を迎えています。

今後は、機械器具の扱いに精通した機能別団員の導入と防火広報活動や災害発生時の後方支援活動等、多方面に活躍できる女性消防団員も検討したいと思います。

消防団長として、団員の命を守ることを第一に考えて、地域に信頼される消防団を目指します。

これからも皆様のご支援・ご協力を心からお願いいたします。

編集後記

議会改選はともない、前期編集委員の最後の議会だよりとなります。2年間、町民の皆様に興味を持ってもらうような紙面にしようと、試行錯誤の編集作業でした。次回より新委員長を迎え、新たな気持ちで取り組んでまいります。（桑原猛）

議会広報編集委員会

- 委員長 上村和正
- 副委員長 大川良樹
- 委員 桑原 猛
- 渡邊昌昭
- 遠藤嘉規



議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。